

薬剤師の在宅訪問について

薬剤師が在宅訪問している事をご存知ですか？お医者様の往診をご存知の方が多いと思いますが、私たち薬剤師もお薬を取りに来られない方などに対して、ご自宅や施設を定期的に訪問してお薬の説明や正しい飲み方、管理のお手伝いをしています。

もちろん、薬剤師が勝手に行うのではなく、主治医やケアマネージャー、訪問看護師などと連携を取って行っています。

実際にどんなことをしているのかを紹介します。

ご自宅または施設までお薬をお届け

往診で主治医から処方箋を出してもらっても薬局まで取りに行けない方に、お薬を持ってご自宅や施設を訪問し、お薬の説明をします。

お薬を個別に工夫

1回に飲むお薬を1包化にしたり、錠剤やカプセルが飲めないなどの事情があれば粉薬にしたりして、お薬を飲むことが負担にならないように工夫します。

お薬を飲む時間が負担になる場合は、その方の生活スタイルに合わせた服用方法に変えられないか検討し、主治医に提案します。



飲み忘れ・飲み間違い防止の工夫

お薬の飲み忘れ・飲み間違いを防止する工夫として、お薬カレンダーを使ったり、箱を仕切って1週間分の薬を入れられるようにしています。

残薬の管理

お薬の飲み忘れや処方の変更などで残っている薬を整理して、使える薬はできるだけ使うようにします（医療費も削減できます）。

飲み合わせのチェック

たくさんお薬を飲んでいるから飲み合わせが心配、風邪薬は飲んでもいいの？などの疑問に答え、飲み合わせをチェックします。

副作用のチェック

お薬を飲んでからの体調変化「食べ物の味がしなくなった」「ふらつくようになった」などのお話を聞き、お薬の副作用が出ていないかチェックしてお薬の副作用の疑いがあれば速やかに主治医に報告、相談しています。



最後に

私たち薬剤師はご自宅や施設でも安心して安全にお薬を飲んでいただけるようにお手伝いします。何か心配事があればいつでもご相談してください。